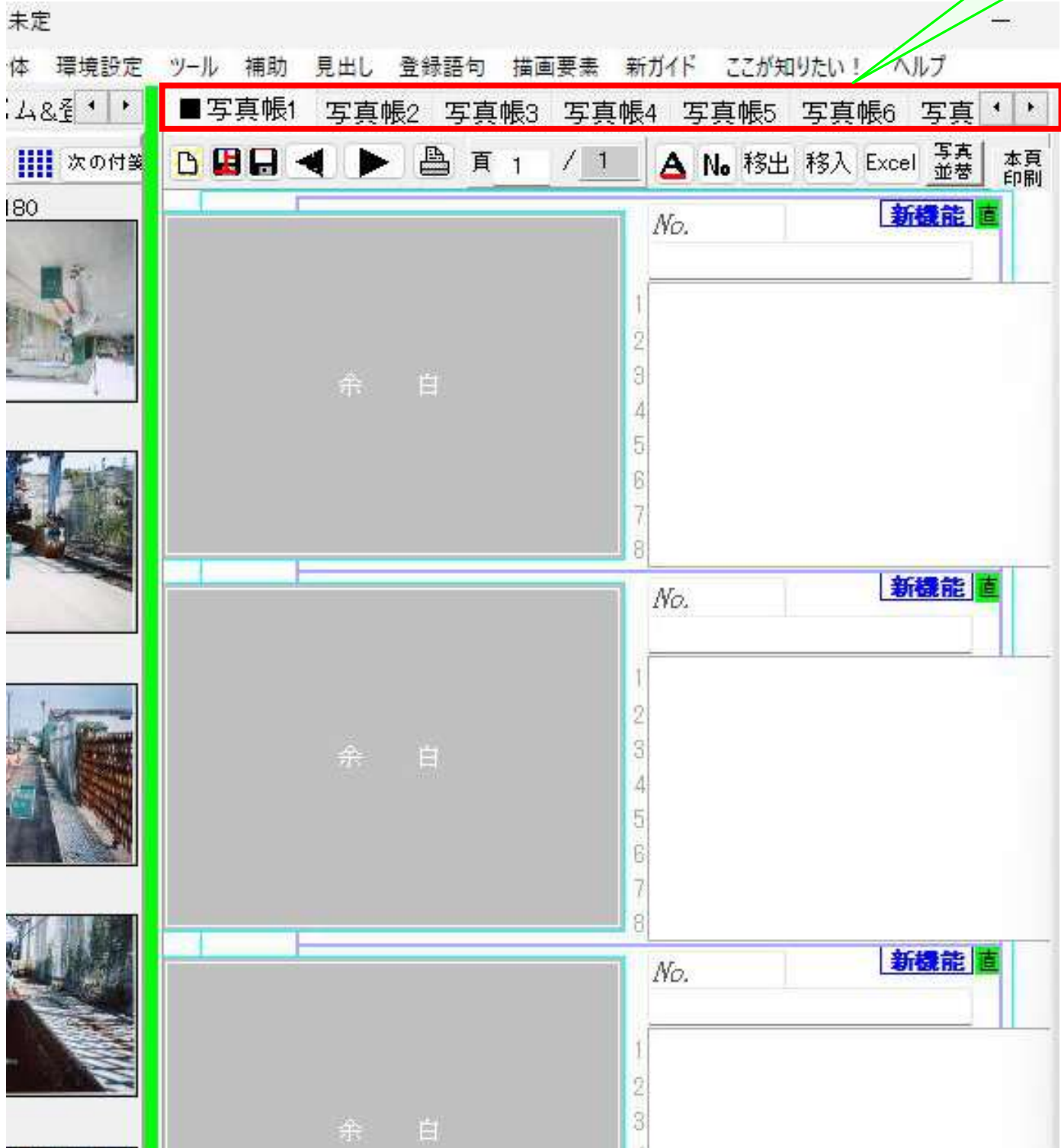
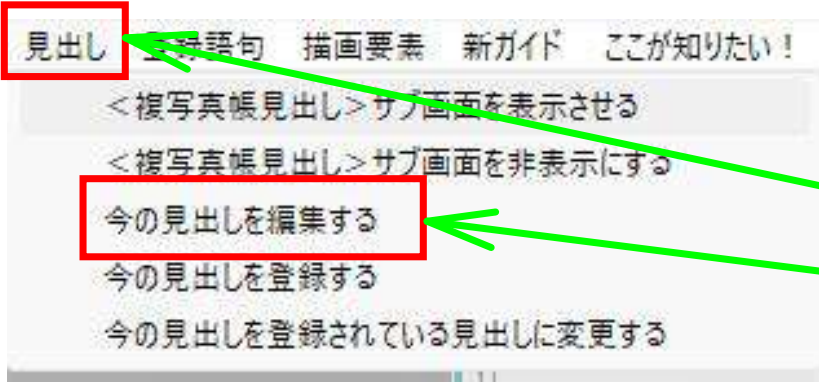


かんたん工事写真帳 3 の

<<見出し>>メニューを活用しましょう！

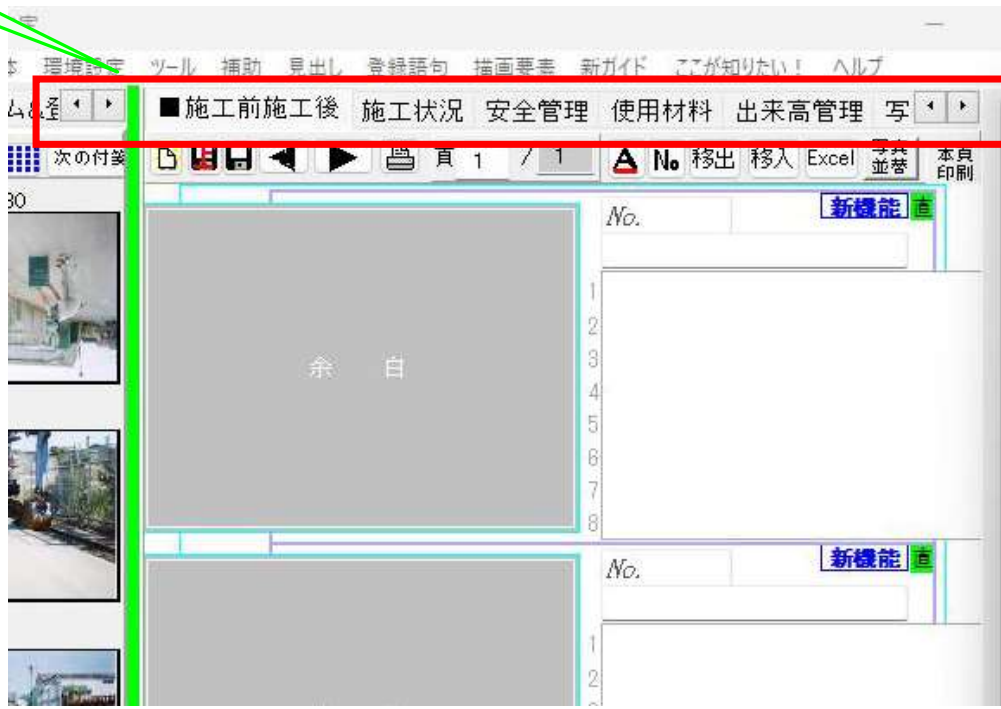
本ソフトで作成される工事写真帳は1つの工事写真帳の中に複数の工事写真帳を内蔵することができる複工事写真帳です。そして、その内蔵されている工事写真帳の切り替えは、上部に配置されている、このような
写真帳1・写真帳2・写真帳3・・・・・・・・
の見出しをクリックすることによって行うことができるようになっています。





従って、工事写真を貼り付ける場合には、先ずこれから貼り付ける工事写真に該当する上部の見出しをクリックした上で、工事写真を貼り付ける訳ですが、その前に、上部に配置されている<見出し>メニューをクリックし、表示された<今の見出しを編集する>サブメニューをクリックし、表示された画面で、見出し名をもっと分かりやすい見出し名に変更します。

上記のような操作をすると、例えば、このように見出し名が変わります。



この状態になったら、該当する見出しをクリックした上で、工事写真を内蔵されている工事写真帳に貼り付けてゆきます。このように本ソフトでは、仕分けしながら工事写真を貼り付けてゆくことができますので、事前に工事写真を仕分けする作業は不要です。

なお、仕分け数が6つ程度までの場合は、上記の方法で結構ですが、仕分け数が多い場合は次のページに記すような問題があります。

仕分け数が6つ以上で多い場合には、工事写真帳の上部に表示できる見出し数が少ないので、写真帳7以上の見出しを選択しようとする、このような表示状態になり、見出しの選択に手間取ります。



見出し

<複写真帳見出し>サブ画面を表示させる

<複写真帳見出し>サブ画面を非表示にする

今の見出しを編集する

今の見出しを登録する

今の見出しを登録されている見出しに変更する

このような不便な状態になった場合には
 <見出し>メニューの中の
 <<複写真帳見出し>
 サブ画面を表示させる>
 のサブメニューをクリックします。

すると、このように<複写真帳見出し>サブ画面が追加表示されます。

このサブ画面の中の任意の見出しをクリックすると、それに対応した内臓された工事写真帳が表示されます。

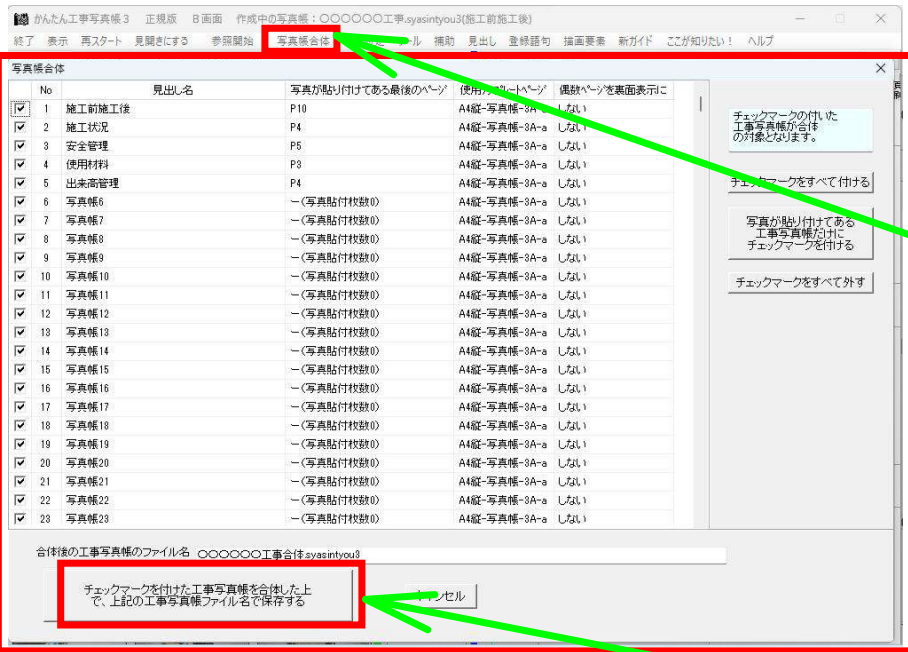


この画面には、現在は 写真帳30とか写真帳40とかまでの見出しが表示されていますが、ここをクリックすると、それ以降の見出しを表示させることができます。

<見出し>メニューの中の<<現在の見出しを編集する>>サブメニューをクリックすれば、見出し数を最大200まで増やすことができます。

但し、この複写真帳には1つ欠点があります。

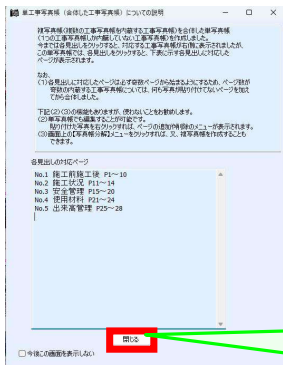
それは印刷する際、一度には、選択した見出しの内臓されている工事写真帳についてしか印刷ができなく、すべてを一度に印刷できないことです。



前ページに記した問題を解消するために下記の操作をします。

まず、画面上部にある
<写真帳合体>
 メニューをクリックします。

すると、この画面が表示されますので、合体したい工事写真帳にチェックマークを付けた上で
 このボタンをクリックします。



すると、この状況説明画面が表示されますので、表示されている内容を理解した上で
【閉じる】 ボタンをクリックします。



すると、今まで
<複写真帳見出し>
 サブ画面であったものが、
<単写真帳見出し>
 サブ画面に変わり、その中の見出しをクリックすると合体されて唯一となった工事写真帳の中の対応したページが表示される状態になりました。

いままで複数の工事写真帳であったものが合体されたので、工事写真帳の印刷は、すべてを一度にできる状態になりました。

なお、作成された工事写真帳は、紙に印刷して客先に提出するのが一般的ですが、本ソフトでは、それを元にして客先提出用電子工事写真帳を作成し、それをCD・DVD・USBなどの記憶媒体に入れて客先に提出することも可能です。

複工事写真帳から作成した客先提出用電子工事写真帳の一例



単工事写真帳から作成した客先提出用電子工事写真帳の一例



客先提出用電子工事写真帳は下記の長所がありますので、今後は紙に印刷して客先に提出するのは止め、客先提出用電子工事写真帳を提出するだけで済まされないか、客先と折衝することを、弊社は本ソフトのユーザーの皆様にお勧めします。

【客先提出用電子工事写真帳の長所】

- 紙に印刷する場合のコストがなくなる。
- 見出しをクリックすれば、すぐに見たい工事写真にアクセスできる。
- 客先での保管が容易

なお、客先提出用電子工事写真帳の作成方法につきましては、別のコースで説明致します。